

いちのみの芸術文化



- [特集] 承久の乱といちのみや
- [エッセイ] 見えないものを求めて…
洋画部門 一宮美術作家協会／洋画部 三輪 修
- 役員紹介・加入団体一覧
- これからの催し

2022.6

第58号

一宮市芸術文化協会

「一宮市」には、一宮市博物館・一宮市三岸節子記念美術館・一宮市尾西歴史民俗資料館など先人の残した文化を紹介する施設があります。私たちの「身近な文化」を学んでみませんか？

承久の乱といちのみや

北条氏の台頭と承久の乱

武家政権である鎌倉幕府を開いた源頼朝の死後、政権内は混乱しました。長男の頼家が「鎌倉殿」(二代將軍)になりましたが、まだ若く政治の仕組みは御家人の合議制(十三人の合議制)になりました。その中で北条時政・義時は有力御家人を排斥して幕府の実権を握りました。頼家は殺害され、弟の実朝が將軍に就任します。実朝は「鎌倉殿」として御家人を統率し、自ら政治に関与しました。和歌に精通した文化人でも知られ、京都の後鳥羽上皇とも親密でした。ところが、実朝が頼家の遺児公暁に暗殺された後、幕府と朝廷との関係も険悪なものになりました。

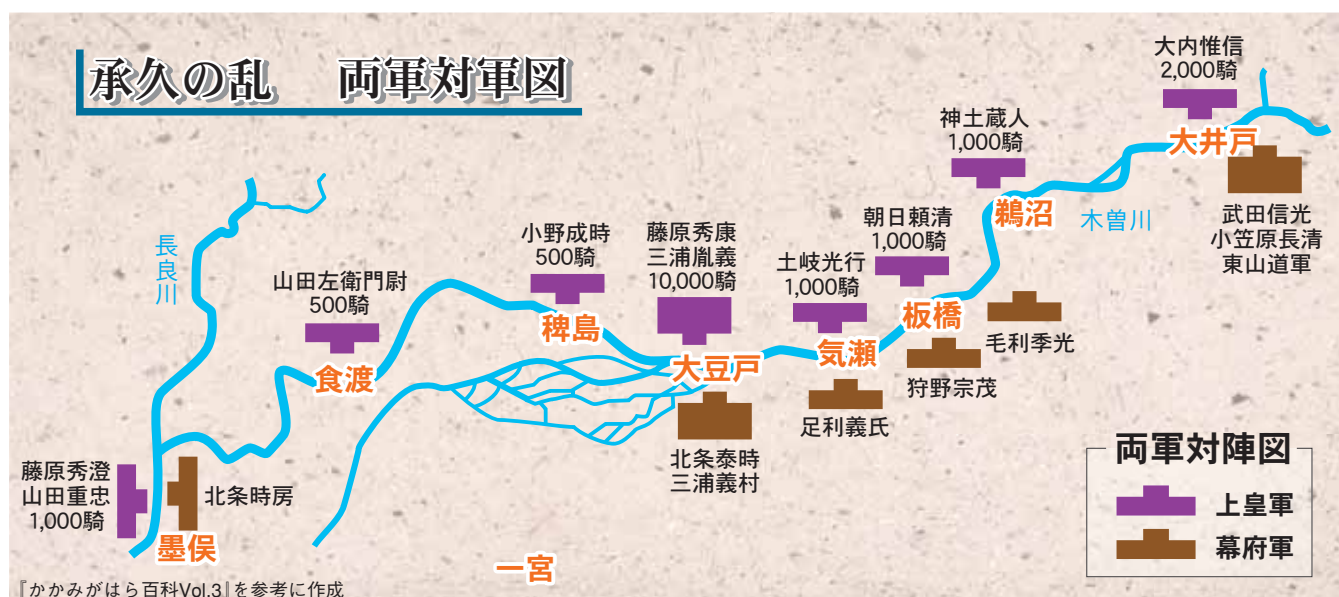
後鳥羽上皇は承久三年(一二二二)五月十五日、

北条義時追討の院宣を全国に出しました。承久の乱の始まりです。

鎌倉方は東国の御家人を集め、東海道・東山道・北陸道の三道から、京都に攻め上りました。その数は十九万とも伝えられています。後鳥羽上皇に幕府軍の進軍が伝わったのは五月二十九日、すでに遠江国に入っていました。その速さに慌てた朝廷側(上皇軍)は東海道・東山道軍を美濃と尾張の国境で迎え撃つことに決めました。

両軍は木曾川を挟んで対峙します。関東から出陣した幕府軍の諸将は六月五日に一宮周辺に本陣を置き、軍議を開きました。一宮は真清田神社が鎮座し、京都と鎌倉を結ぶ鎌倉街道(東海道)が通っていました。

鎌倉時代の歴史書『吾妻鏡』には、「い」の所



より方々の道に相分る」とあります。鎌倉方は一宮から各地に分散し、大豆戸（前渡・各務原市）に義時の長男泰時、墨俣方面には義時の弟時房を配置しました。東山道軍が鵜沼に進出したのを機に、東海道軍も大豆戸で上皇軍と戦闘が始まりました。兵力で劣る朝廷側も勇敢に戦いましたが、大豆戸での敗戦が影響し、木曾川沿いの防衛線は次々に突破されました。朝廷側が敗れた背景は、兵力が少ない状態で、木曾川沿いに布陣し、戦線が長くなりすぎたことでした。

承久の乱により、後鳥羽上皇は隠岐島に流され、上皇に味方した公家は厳しく処分されました。武家が朝廷より優位に立つことになり、明治維新まで武家政権の時代が続きます。

尾張の中島氏

後鳥羽上皇に味方した御家人が京都周辺や西国にいたように、鎌倉幕府の支配は主に東国であり、三河より西には幕府の支配権はそれほど及んでいませんでした。尾張国は守護の小野盛綱が朝廷に味方したため、国内に所

領を持つ御家人の多くが朝廷側となりました。そのため、承久の乱後に多くの御家人が所領を没収されました。

以後、鎌倉幕府の支配は西国にも及びました。尾張国内の荘園も東国の御家人に与えられました。その中で、所領を取り戻したのが尾張西部の在地領主中島氏でした。萩原の中島地区には中島城や長隆寺など、中島一族に関わる史跡が多く残ります。中島氏は平安時代から中島付近に居住し、中島城址付近に屋敷があり、周辺を治めていたと思われます。承久の乱当時の主は中島宣長という人物です。宣長も朝廷側として参陣し、所領を没収され、富田に移り住みました。

その後、幕府に願い出て延応元年（一二三九）旧領を回復しました。中島氏の旧領回復は『吾妻鏡』にも記された、れっきとした史実です。回復できた背景には、所領を没収されても、実際の土地の管理は引き続き中島氏が行っていた可能性があり、それが旧領回復につながったとされます。その後、中島氏は幕府の御家人として活動しています。

（一宮市尾西歴史民俗資料館 学芸員 宮川充史）



▲伝・承久の乱供養塔（各務原市）



▲中島城址（萩原町中島）



▲中島氏発祥地碑（富田）

見えないものを求めて…

洋画部門 一宮美術作家協会／洋画部 三輪 修 みわ おさむ

中学二年の終わり頃から画家を目指した。昼間働きながら夕方から夜中に作品制作の毎日であった。好きな作家は北方ルネサンスのデューラーやクラナッハであった。極薄く何回も絵具を塗り重ねられ陶器のように堅牢な絵肌が好みであった。濃密な絵具の重なりはただごとではないと直感的に思った。非常に懂れた。ちょうどフォークソングブームで長髪が流行っていた。十八歳の終わりごろである。

例にもれず徐々に髪も長くなっていった。確か十八歳頃か、名古屋の地下鉄で女性と見間違われ痴漢に遭遇した事があった。これにはびっくり仰天であった。何しろ髭を蓄えた初老の紳士が私の尻をスリスリしているのだから…。紳士はよほど目が悪かったのだろう。柔らかな髪が腰まであり、顔が見えなければ女性に見えるのかもしれない。ある種のトリックである。フランス語で、trompe l'œil

いわゆる『だまし絵』のパフォーマンスを地下鉄で無意識に仕掛けたようなものである。その初老の紳士の顔は今でも覚えているが、自慢できるような出来事ではないのは言うまでもない。苦笑。

現在、写実絵画を描いているが、これまでに色々なスタイルを勉強してきた。キュビズム、シュールレアリスム、抽象主義、ミニマリズム、様々を組み合わせて試作した。しかし、長続きはしなかった。中学生の時に描いた、スケッチから出直す事にした。三十四歳であった。所属している公募団体白日会では写実的な細密描写が増えてきた時期でもあった。

『神は細部に宿る』という。事物の細部を描く事は、苦しくも楽しいのだ。

生来の変わり者には都合がいいのか今のところ続いている。

今後、老眼が進行し、体力的に細かい描写ができなくなるのかわからないが、写実作品を生涯描き続けるつもりである。細密描写を駆使して、だまし絵風作品も描いてみたいと思っている。



NaturalHistory (2019年作)



パレットの前の自画像17歳 (1975年作)



幻想夢幻(1981年作)



プリマの初恋(部分) (2021年作)

私が思う絵画とは、キャンバスという平面の中にもう一つの現実を作り出す事である。

油絵具が物質になりきるまで絵具を重ね続け、その先に『見えないものの存在』を表現できないかと筆を握る毎日である。

令和4年度 一宮市芸術文化協会役員

役職名	氏名	備考(部門/団体名)
名誉会長	中野正康	一宮市長
顧問	加藤昌義	茶道部門/同派会
会長	小島祥子	声楽・合唱部門/一宮音楽家協会
副会長	不破 皓	吹奏楽・管弦楽部門/尾西ウィンドオーケストラ
会 計	不破 務	洋画部門/一宮美術作家協会/洋画部
監 事	夫馬 勲	写真部門/一宮写真協会
	鵜飼輝子	吟剣詩舞部門/柳翠剣詩舞道会

※左表は各部門選出の理事一覧表です。

(敬称略)

文学部					部 門
短歌部門	俳句部門	川柳部門	狂俳部門	詩部門	部長
川合順夫	光崎賢治	川越洪太郎	山本範子	清水義晴	氏名
真清短歌会	本町俳句会	一宮川柳社	一宮狂俳壇連盟	一宮現代詩協会	団体名

音 楽 部									美 術 部					部
茶 道・華 道 部 門	芸 能 部 門	舞 踊 部 門	吹 奏 楽 ・ 管 弦 楽 部 門	器 楽 部 門	声 楽・合 唱 部 門	吟 剣 詩 舞 部 門	謡 曲 部 門	邦 楽 部 門	写 真 部 門	書 部 門	デ ザ イ ン・工 芸・ 彫 塑 部 門	洋 画 部 門	日 本 画 部 門	部 門
○	○				○							○		部 長
脇 田 ま つ 子	木 全 修	花 柳 こ ま 希 久	浅 井 英 仁	岩 田 法 智 華	久 野 以 早 夫	高 間 加 代 子	森 恒 夫	水 谷 富 士 雄	武 鹿 千 代	川 浦 碧 濤	鵜 飼 辰 郎	三 輪 修	高 橋 弘 子	氏 名
一宮華道連盟	一宮民俗芸能連盟	一宮舞踊協会	一宮市民吹奏楽団	特定非営利活動法人 旭雅楽会	一宮音楽家協会	濃尾岳風会 一宮支部	一宮謡曲同好会	一宮三曲協会	一宮写真協会	公益社団法人中部日本書 道会 一宮支部	一宮美術作家協会 ／デザイン・工芸部・彫塑部	一宮美術作家協会 ／洋画部	一宮美術作家協会 ／日本画部	団 体 名

(敬称略)

加 入 団 体 一 覧

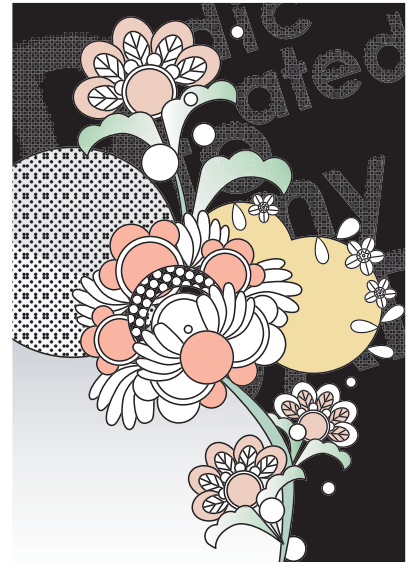
(令和4年5月現在)

部	部 門	団 体 名	主 な 活 動 日 時 ・ 場 所
			活 動 内 容
文 学 部	短 歌 部 門	真 清 短 歌 会	毎月第2日曜日：午後1時～ 一宮スポーツ文化センター
			毎月の短歌教室と年3回の短歌大会、秋の吟行会、年4回同人誌を発行し、楽しんでいます。
	俳 句 部 門	一 宮 市 民 俳 句 教 室	毎月第3日曜日：午後1時～ 一宮スポーツ文化センター
			初心者も交え俳句会を開き、年に一度秋の吟行会に参加しています。
		北 方 俳 句 会	毎月第1水曜日：午後1時～ 北方公民館
			自然に親しみ、心豊かに生きている喜びを詠っています。
		本 町 俳 句 会	毎週金曜日：午後1時～ 大志公民館
			四季の移ろいに自分の思いも入れ句に詠むことは心を豊かにします。
		き き よ う の 会	毎月第1・3水曜日：午後1時～ 大志公民館
			四季の自然や生活の中で気付いた事を五七五にまとめて句会を致しております。お気軽にどうぞ。
		千 秋 俳 句 ク ラ ブ	毎月第1木曜日：午後1時～ 千秋公民館
			当季雑詠6句を持ち寄り講師に指導いただき、11月には千秋文化展に出展し頑張っています。
		尾 西 牡 丹 句 会	毎月第3土曜日：午後1時～ 尾西生涯学習センター
			毎月の句会では全員が披露し交流を深めています。毎年バスで吟行会と尾西俳句大会を実施しています。
		び さ い 南 俳 句 会	毎月第1金曜日：午後1時～ 尾西南部生涯学習センター
			当日は俳句会をします。会の終わりに久保武氏の講評があり、折々の吟行会に参加します。
		尾 西 仏 手 柑 俳 句 会	毎月第2日曜日：午後2時～ 応蓮寺
			大徳公民館で活動を始めました。第4日曜日午後2時から3時30分まで。ご参加お待ちしております。
		尾 西 新 樹 会	毎月第1月曜日：午後1時～ 尾西生涯学習センター
			俳句を通じて人との触れ合いを大切にして作句し、吟行会や俳句大会へも積極的に参加しています。
	川 柳 部 門	一 宮 川 柳 社	毎月第4日曜日：午後1時～ 一宮スポーツ文化センター
			句会と川柳教室ならびに柳誌の発行により、文芸としての川柳を楽しみ、普及をはかっています。
美 術 部	狂 俳 部 門	一 宮 狂 俳 壇 連 盟	毎月第2土曜日：午後1時～ 葉栗公民館
			一宮市に残る庶民文芸を伝承し、地域文化として普及するよう、言葉遊びを楽しんでいます。
	詩 部 門	一 宮 現 代 詩 協 会	事務局へお問合せください。
			詩が好きな仲間が集まりました。詩心がある方はもちろん、始めてみたい方、どなたでも大歓迎です。
		一 宮 漢 詩 講 聲 會	毎月第1火曜日・第4土曜日：午前10時～ 中央図書館
			自作の漢詩を各自持ち寄り、互いに読み合って、より良い作品へ仕上げる添削等を検討します。
	日 本 画 部 門	一宮美術作家協会／日本画部	事務局へお問合せください。
			市を代表する各部門の作家らの独創的な作品展を企画し、地域の芸術文化の発展に寄与していきます。
		桃 墨 会	毎月第2・4火曜日：午後2時～ 一宮スポーツ文化センター、第1・3水曜日：午前10時～ 尾西生涯学習センター
			趣味とは云えども芸術としての水墨画を目ざし、年2回のスケッチ旅行と年1回の桃墨会展を開催しています。
	洋 画 部 門	尾 西 作 家 協 会	事務局へお問合せください。
			絵画や工芸作品の発表を通して美術文化の発展に協力します。チャリティー展を開催します。
		一宮美術作家協会／洋画部	事務局へお問合せください。
			市を代表する各部門の作家らの独創的な作品展を企画し、地域の芸術文化の発展に寄与していきます。
		尾 西 絵 画 ク ラ ブ	毎月第1・3土曜日：午後1時～ 尾西生涯学習センター
			絵画をつうじて美術文化の発展と人との出会いを大切にし、中央の公募展をめざして精進します。

部	部 門	団 体 名	主 な 活 動 日 時 ・ 場 所
			活 動 内 容
美 術 部	洋 画 部 門	水 絵 の 会	毎月第1・3金曜日：午前10時～ 尾西南部生涯学習センター 生涯学習として水彩画を学び、正確に描くことより気持ちを表現し、個性ある絵で感動を伝えたいです。
		楽 し く 描 こ う 会	毎月第1土曜日・第3火曜日：午前9時30分～ 尾西生涯学習センター 本会も歩み始めて20年日。熱心な講師の指導、個性溢れる仲間の作品から刺激を受け合い前向きに頑張っています。
		ポ ビ ー の 会	毎月第1・3水曜日：午前9時～ 木村周子宅 絵を描く事が好きな人が集まり、個々でテーマを決め作品を作り、公募展にも出品しています。
		木 曾 川 絵 画 同 好 会	毎月第2・4日曜日：午後2時～ シルバー人材センター木曾川支部 絵画一般を会員で楽しく描いています。
		ブ ル シ ャ ン ブ ル ー	毎月第1・3木曜日：午前9時～ 一宮南部公民館 絵画を楽しみ、人と人との交流を大切に、年間の成果を発表する作品展を目標に活動しています。
		イ エ ロ ー オ ー カ ー	毎月第1・3土曜日：午前9時30分～ 尾西南部生涯学習センター 私達は絵画研習を目的に年2回のスケッチ旅行とグループ展を2回程行っています。
		山 ぶ ど う の 会	毎月第2・4木曜日：午前9時30分～ 一宮スポーツ文化センター 趣味の一環で、水彩画・油絵など楽しく描き、年1回展覧会を開催しています。ご加入お待ちしております。
		土 筆 の 会	毎月第1・3火曜日：午前9時30分～ 一宮スポーツ文化センター 愛好者により、水彩画を学んで、地域の人との交流をして、成果を作品展にて発表します。
		あ ざ み の 会	毎月第1・3水曜日：午前9時～ 一宮スポーツ文化センター 絵画が好きな仲間と共に楽しく描き、年1回展覧会を開催します。
		ゆ ず の 会	毎月第1・3金曜日：午前9時30分～ 一宮スポーツ文化センター 絵画をつうじて美術文化の発展と人との出会いを大切にし、作品展をめざして精進します。
		び く ー る ア ー ト サ ー ク ル	毎月第2・4金曜日：午後1時～ 一宮スポーツ文化センター、千秋公民館 初心者からベテランの方まで、楽しく水彩画を学んでいます。スケッチ旅行にも皆で出かけます。
		グ ル ー プ 創	毎月土曜日3回（変則）：午前9時30分～ 一宮スポーツ文化センター 大島先生の指導のもと、各自自由課題で楽しんでいます。
		ア ク ア マ リ ン	毎月第1・3火曜日：午後1時～ 尾西生涯学習センター 水彩画を楽しく描き、一宮美術文化と人にふれあい生きがいのある活動します。
	デザイン・工芸・彫 塑 部 門	一宮美術作家協会/デザイン・工芸部・彫塑部	事務局へお問合せください。 市を代表する各部門の作家らの独創的な作品展を企画し、地域の芸術文化の発展に寄与していきます。
		陶 順 会	毎週火・土曜日：午前9時～ 朝日西つどの里陶芸室棟 陶芸を通じて文化の振興に寄与し技術の向上に努めると共に、会員相互の新睦を図っています。
		尾 張 も め ん 伝 承 会	毎月第4日曜日：午前10時～ 一宮市市民活動支援センター 尾州織物の原点となる綿から糸を紡ぎ染め織るという手仕事を伝承し、作品を発表しています。
		尾 西 面 打 会	毎月第1・3土曜日：午前8時30分～ 旧湊屋文右衛門邸 古面の能・狂言面等を手本に、角材から型紙を使い彫り、胡粉を塗り彩色し完成させています。
		一 面 会	毎月第2・4土曜日：午前9時～ アイブラザー宮 工芸「面打ち」教室に集う会員相互の親睦を深め、技術の向上を図ることを目的とします。
	書 部 門	公益社団法人中部日本書道会一宮支部	事務局へお問合せください。 『書』を通じて『地域文化の発展向上』と『心の豊かさ』をめざすと共に、青少年の育成にも尽力してまいります。

部	部 門	団 体 名	主 な 活 動 日 時 ・ 場 所
			活 動 内 容
美術部	書 部 門	麗 筆 会	事務局へお問合せください。
			書を通して文化の発展向上、豊かな心と美意識を具備する青少年の育成をめざし研鑽しています。
	写 真 部 門	一 宮 写 真 協 会	事務局へお問合せください。
			写真を通して会員相互の親睦を深め、写真技術の向上と豊かな人生の糧となるように努めています。
音楽部	邦 楽 部 門	一 宮 三 曲 協 会	事務局へお問合せください。
			三曲協会は絃方10社中尺八6社中で構成され、合同で定期演奏会を毎年11月23日に開催しています。
		三 山 会	毎週土曜日：午後2時～ 講師宅
			歴史ある伝統楽器である尺八を吹いて楽しんでいる仲間の会です。
		里 音 会	月2回 土曜日：午後5時～ 尾西生涯学習センター
			箏・三絃・十七絃を練習し、演奏会が近くなると尺八とも合奏しながら楽しく励んでいます。
		す み れ 箏 の 会	月4回 講師宅
			箏のおけいこを通じて、音楽の知識を学び感性を養います。年に数回演奏会に出演。生徒募集中です。
		美 友 会	(随時) 講師宅
			邦楽を愛する仲間で活動する会です。楽しく箏曲を演奏しております。
		藤 乃 会	(随時) 講師宅
			古曲から新曲、あらゆるジャンルの曲を箏で合奏しています。新しい方との出会いをお待ちしています。
		一 宮 三 味 線 川 崎 会	毎週金曜日：午前9時30分～ 渡辺節子宅
			民謡三味線を弾き、日本音楽文化を楽しもう。
		邦 楽 グ ル ー プ R E N	毎週土・日曜日：午前9時～ 脇田美登里宅
			箏や三絃や十七絃と尺八や洋楽とコラボ演奏し、演奏会やイベントに楽しく演奏出演しています。
	謡 曲 部 門	一 宮 謡 曲 同 好 会	事務局へお問合せください。
			現在8団体で年2回の発表会に向け、それぞれの団体ごとに稽古しています。
	吟 剣 詩 舞 部 門	濃 尾 岳 風 会 一 宮 支 部	市内4教場で活動しています。詳しくは事務局へお問合せください。
			年間行事として年2回の発表会(一吟会1月と6月)を通じて各教場の交流を含め練習成果の研鑽。
		吟 道 関 心 流 真 和 支 部	事務局へお問合せください。
			年に4回の発表会と県大会や全国大会のコンクール(競吟)を行っています。
		神 道 一 刀 流 剣 詩 舞 会	第2・4金曜日:午後1時～ 小信中島公民館
			勇壮な剣舞、艶やかな詩舞の伝統芸能により歴史を学び、舞台や慰問等を楽しんでいます。
		柳 翠 剣 詩 舞 道 会	毎月第1・3金曜日：午後1時～ 小信中島公民館、第2・4金曜日：午後1時～ 尾西生涯学習センター他
			吟剣詩舞道は日本古来の伝統芸能です。「礼と節」をその心とし舞う事に喜びを感じ精進しています。
		山 螢 会	毎週月・水・金曜日 山螢会教室、尾西生涯学習センター 他
			吟詠を通じ、優れた詩人の心情・思想にふれ共感し仲間との絆を深めています。又発声により健康の保持に努めています。
	声 楽 ・ 合 唱 部 門	一 宮 音 楽 家 協 会	事務局へお問合せください。
			日頃は個人で研鑽している。サロンコンサート(5月中旬) 定期演奏会(10月下旬～11月上旬) 開催。
		一 宮 合 唱 協 会	事務局へお問合せください。
			コーラスを通じ歌いたい心のうたを皆様にお届けできたらと取り組んで練習を重ねています。
		一 宮 第 九 を う た う 会	毎週火曜日：午後7時～ 尾西生涯学習センター
			「第九」をはじめ各種の演奏会と練習を通じて地域文化の向上に貢献することを目的に活動中。

部	部 門	団 体 名	主 な 活 動 日 時 ・ 場 所
			活 動 内 容
音 楽 部	声楽・合唱部門	佳 富 士 会	毎月第2・4土曜日：午後1時～ 尾西生涯学習センター
			民謡を通じ、文化祭等出演し、他のグループと交流を深めたいです。
	器 楽 部 門	琴 伝 流 大 正 琴 琴 稀 会	月4回 金曜日：午後1時～、土曜日：午後1時～ 尾西ふれあい広場
			懐かしい童謡や流行歌など大正琴の音色を楽しみながら、芸能祭出演に向けて練習に励んでいます。
		安 美 & コ ン プ リ オ	事務局へお問合せください。
			12月にはクリスマスコンサートでいろいろなジャンルの曲をいろいろな楽器で演奏します。
	吹奏楽・管弦楽部門	特 定 非 営 利 活 動 法 人 旭 雅 楽 会	毎月1・15・28日：午後6時～、第2・4日曜日：午後6時～ 尾張猿田彦神社
			一宮市をはじめ、東海三県で世界最古の音楽「雅楽」の演奏活動をしております。
		一 宮 市 民 吹 奏 楽 団	毎週土曜日：午後5時～ 一宮スポーツ文化センター
			定例練習を重ね、自主演奏会を開催し、市民文化発展に貢献できるよう、活動しています。
		尾 西 ウ ィ ン ド オ ー ケ ス ト ラ	毎週日曜日：午後5時～ 尾西生涯学習センター
			音楽を楽しみ、人との繋がりを深め、希望と夢のあふれるまちづくりに貢献し、人生に潤いを！
芸 能 部	舞 踊 部 門	一 宮 舞 踊 協 会	越智バレエ団 秋田産業ビル（木曜日）、一宮中日文化センター（火曜日・日曜日）
			佐々バレエ団 一宮中日文化センター（木曜日）
			糸尾バレエ団 下沼町（日～土曜日）
			日舞喜美会 しばらく休講致します
			日舞吉利枝会 しばらく休講致します
			日舞こま希久会 中町（日・月・木・金曜日）
	芸 能 部 門	新 舞 踊 あ す か 会	毎月第1・2木曜日：午前9時～ 尾西文化広場、毎月火曜日：午後1時～ 講師宅又は尾西生涯学習センター
			令和4年に71周年を迎えます。日舞の歴史等も学びつつ、演目の理解度も高め、芸能祭を目標に！
		坂 東 流 百 喜 久 会	毎月第1・2（又は3）木曜日：午前9時～ 尾西文化広場または講師宅
			H27年に10周年記念発表会。自分の踊りを仕上げる喜び、苦しみ仲間と共に。芸能祭を目指します。
		坂 東 流 百 の 会	事務局へお問合せください。
			現在10団体加入しており、長い歴史に培われた郷土の民俗芸能を保護するため奮闘しています。
社 会 文 化 部	茶 道 ・ 華 道 部 門	同 派 会	事務局へお問合せください。
			7月に納涼茶会、10月に市民茶会、11月に妙興寺で茶会を行う等、各先生方と共に茶会の席を設けております。
		弥 生 会	事務局へお問合せください。
			7月に納涼茶会、10月に市民茶会、11月に妙興寺で茶会を行う等、各先生方と共に茶会の席を設けております。
		茶 道 表 千 家	事務局へお問合せください。
			7月に納涼茶会、10月に市民茶会、11月に妙興寺で茶会を行う等、各先生方と共に茶会の席を設けております。
		茶 道 裏 千 家	事務局へお問合せください。
			7月に納涼茶会、10月に市民茶会、11月に妙興寺で茶会を行う等、各先生方と共に茶会の席を設けております。
		一 宮 華 道 連 盟	事務局へお問合せください。
			華道展を開催する事によって、文化の発展の向上をより多くの方々に伝えて携わっていただきたいです。



「継承」

百々 佳美

加入団体の 催し

※新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況により、掲載している催しや教室などは中止・延期等になる場合があります。開催状況は、問合せ先へお尋ねください。

『瀟聲會漢詩講読会』

【問合せ先 一宮漢詩瀟聲會】

☎(78)7953

日時▼6月25日(土)・7月23日(土)

9月24日(土)・10月22日(土)

11月26日(土)・12月24日(土)

午前10時～

会場▼中央図書館

内容▼漢詩文の基本的な読み方をはじめ、作者の時代背景にも触れながら初めての方にも分かりやすく「唐詩三百首」を解説します。(初心者歓迎)

講師▼三島徹氏(東洋文化振興会会長)

参加料▼月2000円

申込み▼当日直接会場

『市民川柳教室』

【問合せ先 一宮川柳社】

☎(44)7598

日時▼6月26日(日)・7月24日(日)

8月28日(日)・9月18日(日)

10月23日(日)・11月27日(日)

12月18日(日)

午後1時～

会場▼一宮スポーツ文化センター

内容▼自由吟および課題吟を一宮川柳社委員が指導します。

(初心者歓迎)

参加料▼無料

申込み▼初参加の方は開催日の3日前までに電話で生涯学習課

☎(85)7074

『瀟聲會作詩教室』

【問合せ先 一宮漢詩瀟聲會】

☎(78)7953

日時▼7月5日(火)・9月6日(火)

10月4日(火)・11月1日(火)

12月6日(火) 午前10時～

会場▼中央図書館

内容▼漢詩文の作り方の指導をはじめ、持ち寄った創作詩の添削の検討を会員間で行います。

(初心者歓迎)

参加料▼年3000円

申込み▼当日直接会場

『第15回記念 プルシャンブルー絵画展』

【問合せ先 プルシャンブルー】

☎090(2619)8010

日時▼7月6日(水)～10日(日)

午前10時～午後5時

(10日は午後4時まで)

会場▼玉堂記念木曾川図書館

内容▼講師の故三輪清弘先生を偲んで、水彩画や油絵などを展示します。

入場料▼無料

『七夕まつり 狂俳大会』

【問合せ先 一宮狂俳壇連盟】

☎(78)5002

日時▼7月9日(土) 午後1時～

会場▼葉栗公民館

内容▼事前投句の兼題句の中から互選により優秀作を表彰します。

参加料▼500円

『おりもの感謝祭一宮七夕まつり 第49回学生書道展・第28回選抜作品展』

【問合せ先 一宮書道連盟】

☎090(4265)6098

日時▼7月9日(土) 午後1時～4時

10日(日) 午前10時～午後4時

会場▼一宮スポーツ文化センター

内容▼上位入賞作品、役員と指導者作品を展示します。

入場料▼無料

『七夕まつり 短歌大会』

【問合せ先 真清短歌会】

☎(51)3570

日時▼7月10日(日) 午後1時～

会場▼一宮スポーツ文化センター

内容▼参加者による互選、批評会を行います。

参加料▼500円

『一宮市尾西俳句教室』

【問合せ先 尾西俳句会】

☎(68)23397

日時▼7月16日(土) 午後1時30分～

※8月以降はお問い合わせください。

会場▼尾西生涯学習センター

内容▼当季雑詠4句課題1句を尾西俳句教室委員が指導します。

参加料▼無料

申込み▼当日直接会場

『市民俳句教室』

【問合せ先 一宮市民俳句教室】

☎(73)0282

日時▼7月17日(日)・8月21日(日)

9月18日(日)・10月23日(日)

11月6日(日)・12月18日(日)

午後1時～

会場▼一宮スポーツ文化センター

内容▼当季雑詠2句を一宮市民俳句教室委員が指導します。

(初心者歓迎)

参加料▼無料

申込み▼開催日の前月末(必着)までに参加希望日・当季雑句2句(初参加の方は希望者だけ)・郵便番号・住所・氏名(ふりがな)・電話番号を記入の上、ハガキ(〒491-8501 本庁舎生涯学習課)

『写真100人展』

【問合せ先 一宮写真協会】

☎(76)3523

日時▼7月22日(金)～24日(日)

午前10時～午後5時(24日は午後3時50分まで)

会場▼一宮スポーツ文化センター

入場料▼無料

『納涼茶会』

【問合せ先 一宮茶道連盟】

☎090(2346)0313

日時▼7月30日(土)・31日(日)

午前10時～午後3時

会場▼一宮スポーツ文化センター

呈茶券▼650円

前売券 600円

『墨岩祇園祭保存会 墨岩祇園祭』

【問合せ先 一宮民俗芸能連盟】

☎(85)7074

日時▼8月6日(土) 午後6時～

会場▼石刀神社(浅井町黒岩)

内容▼山車に50個の提灯を飾りつけ、引き回します。

『島文楽保存会 虫干し』

【問合せ先 一宮民俗芸能連盟】

☎(85)7074

日時▼8月7日(日) 午前10時～

会場▼島村公民館(島村字岩畑)

内容▼市指定有形民俗文化財の文楽

人形の虫干しをします。

『狂俳月例会』

【問合せ先 一宮狂俳壇連盟】

☎(78)5002

日時▼8月13日(土)・9月10日(土)

10月8日(土)・11月12日(土)

12月10日(土) 午後1時～

会場▼葉栗公民館

内容▼各自10句持参、互選により優秀作を記録に残します。

(初心者歓迎)

参加料▼無料

『市民短歌教室』

【問合せ先 真清短歌会】

☎(51)3570

日時▼8月21日(日)・9月11日(日)

10月9日(日)・12月11日(日)

午後1時～

会場▼一宮スポーツ文化センター

内容▼真清短歌会委員により実作指導します。(初心者歓迎)

参加料▼無料

申込み▼初参加の方は開催日の3日前までに電話で生涯学習課

(☎(85)7074)



この「いちのみやの芸術文化」は、今年度の編集委員7名により編集されています。

【編集委員】※順不同・敬称略
・浅井 英仁 ・加地 孤握
・木全 修 ・小島 祥子
・原 美津子 ・増田 和臣
・安江たつよ

『加入団体の催し』欄に情報を掲載しませんか？

このコーナーでは一宮市芸術文化協会加入団体の活動情報を募集します。掲載を希望される団体は、発行月3・6・8・12月の前々月末日までに、下記の必要事項を任意の様式にて記入の上、事務局まで提出してください。

必要事項 ①行事名 ②団体名 ③問合せ先電話番号 ④日時 ⑤会場
⑥対象 ⑦参加料 ⑧申込方法 ⑨その他必要事項

提出先 〒491-8501 一宮市芸術文化協会(住所不要)
またはFAX 0586-73-9213

『いちのみや文芸2022』作品募集

市民の皆さまから文芸作品を募集します。お寄せいただいた作品を文芸集にします。ぜひご応募ください！



1. 募集種目 ※一人3種目以内

- ①随想・随筆 一人1編（本文は400字詰原稿用紙3枚以内）
- ②現代詩 一人1編（本文は400字詰原稿用紙3枚以内）
- ③漢詩 絶句、一人2首以内
- ④短歌 一人8首以内（題を付けること）
- ⑤俳句 一人10句以内（新仮名、旧仮名遣いを明記のこと）
- ⑥川柳 一人10句以内
- ⑦狂俳 一人10句以内（俳号を付けること）

2. 応募資格

市内在住・在勤または一宮市芸術文化協会加入団体に所属している方

3. 作品の採否

応募作品の採否については、編集委員が選者となり、編集委員会で決定します。

4. 応募方法

作品には、1種目につき「応募用紙」を1枚添付してご応募ください。

詳しくは募集要項をご確認ください。

募集要項・応募用紙は市役所生涯学習課などで配付。

※市ウェブサイト[ID1049244]でもダウンロードできます

〒491-8501(住所不要) 一宮市芸術文化協会『いちのみや文芸』係
(市教育委員会 生涯学習課内) までお送りください。



令和4年7月1日(金) 必着

5. 発刊予定

令和4年10月15日(土) 発刊予定です。



国際芸術祭「あいち2022」 一宮市会場

日時 2022年7月30日(土)～10月10日(月・祝)

午前10時～午後6時 ※市役所は午後5時15分まで

【月曜休館(祝日の場合は開館)】

会場 全9箇所 ※一部を除き入場にはチケットが必要です

一宮駅周辺

オリナス一宮、つむぎロード公衆トイレ裏、市役所本庁舎1階、旧中央看護専門学校、旧スケート場、豊島記念資料館

一宮西エリア

国島株式会社[大和町馬引]、のこぎり二(平松毛織)[簗屋]、尾西生涯学習センター墨会館[小信中島]

連絡先 国際芸術祭「あいち」組織委員会事務局 TEL:052-971-3111

[題字] 武山翠屋
[編集・発行] 一宮市芸術文化協会

[連絡先] 一宮市芸術文化協会事務局(市教育委員会生涯学習課内)
〒491-8501 愛知県一宮市本町2丁目5番6号
TEL 0586-85-7074 / FAX 0586-73-9213